

海水浴シーズンは到来です ヒョウモンダコにご注意

「ヒョウモンダコ」は、その唾液に強力な神経毒であるテトロドトキシンが含まれており、人間でもかまれると、呼吸困難につながるまひを起こすとされる危険な水産動物です。

近年、九州北部の沿岸でも、多くの目撃情報がありますので、海水浴にお出かけの際は、ご注意ください。

■症状

かまれた場合、出血など、傷の症状で気づく場合もありますが、必ずしも毒が注入されるとは限らず、症状が現れない場合もあります（5ミリ以上深くかまれると、毒が注入される率が高くなります）。

■応急手当て

- 青いリングのついたタコにかまれた場合、患者が水にいる場合はすぐに引き上げ、病院に運んでください。
- 毒を絞りだし、流水で洗うことは効果がありますが、毒の吸引は非常に危険なので、医師か看護師がそばにいる場合に行ってください。
- 吐物を気管につめて窒息を起こしやすいので注意（救急隊や医師の指示に従ってください）。

■治療

- かまれた場合には、症状がなくても6時間は入院させ、時間経過後、症状が現れない場合は、退院できます。



ヒョウモンダコ

■ヒョウモンダコの特徴

体長は、10センチほどの小型のタコです。ほかのタコと同様に体色をすばやく変化させることができ、周囲の岩や海草にカモフラージュしますが、刺激を受けると青い輪や線のある明るい黄色に変化し、この模様がヒョウウ柄を思わせることからこの和名がついています。

- 解毒剤、拮抗剤はありません。
- 通常、患者は呼吸不全を起こしている場合が多いので、気管内挿管し、人工呼吸を行うなど、呼吸管理を十分に行う必要があります。

〈問い合わせ〉

阿蘇保健所 Tel.0967 (32) 0535

不法投棄は許されません

農道や山林の道路脇など、人目に付かない場所へのごみの不法投棄が後を絶ちません。不法投棄は景観を損ねるのはもちろん、水質や土壌の汚染などの環境への影響も心配されます。「自分さえ良ければ……」の公共マナーを欠いた身勝手な行動は絶対に許されません。村では環境保全民間監視員（区長）による巡回・監視パトロールなどで防止に努めています。村民の皆さんも、「きれいな村」「住みやすい村」を目指し、不法投棄は「しない」「させない」を目標に不法投棄の防止に取り組みましょう。



第7駐在区に不法投棄された廃プラ



県・県警・村による合同パトロール

〈問い合わせ〉役場 環境対策課 Tel.(67) 3176

法定検査受検のお願い

本年7月に、11条法定検査を未受検の人へ熊本県浄化槽協会より法定検査受検のお知らせが郵送されます。

合併浄化槽は定期的に清掃・点検をし、年1回は法定検査を受けましょう。
※法定検査とは、指定検査機関の行う水質検査で、浄化槽設置後一定期間に行う検査(7条)と毎年行う検査(11条)の2種類の検査があります。



合併浄化槽は正しく使用しましょう

〈問い合わせ・申し込み〉
公益社団法人 熊本県浄化槽協会
Tel.096 (284) 3355